

資本コストと株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2024年12月10日

アイホン株式会社

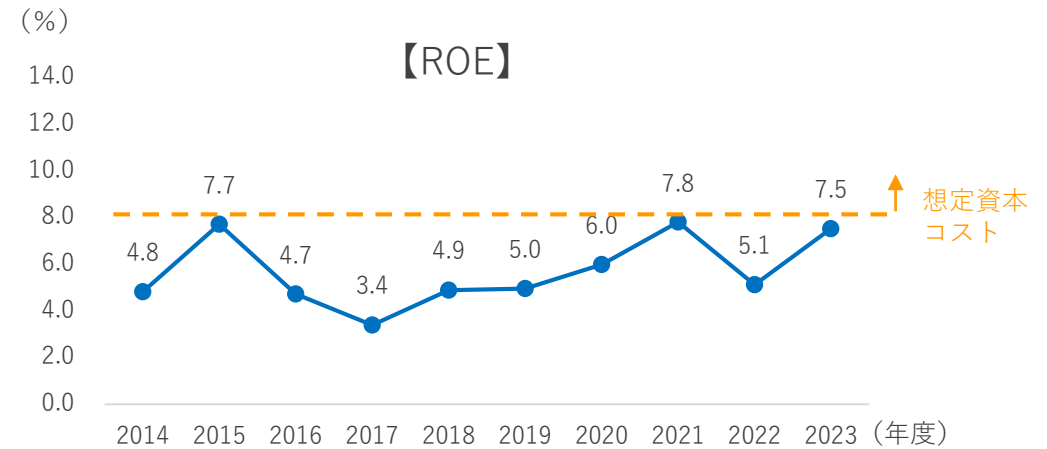
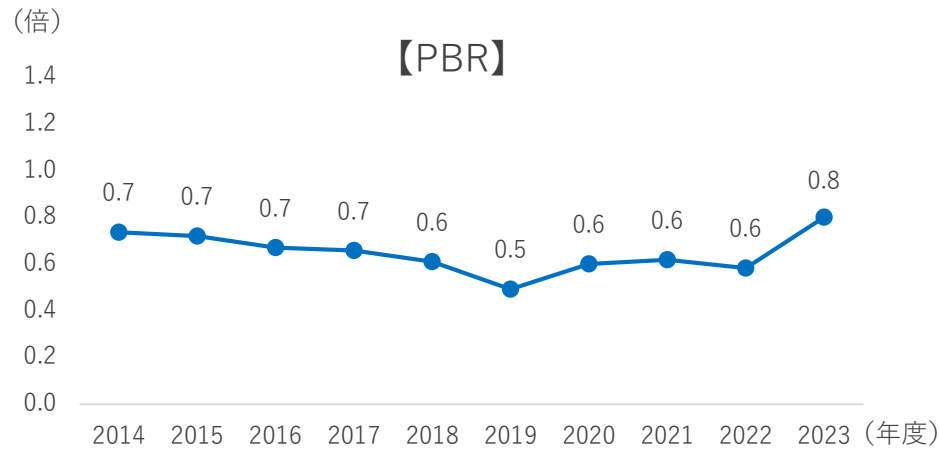
現 状

株主資本コスト

7.2%

ROE

7.5%



- ✓ マクロ環境も踏まえた当社事業への成長期待値を上げることに苦戦、PBRは1倍水準を下回る
- ✓ ROE水準は概ね改善傾向にあるものの、直近では高利益体質の早期実現に向けた成長投資の実行により、想定資本コストを下回る *投資家面談を通じて想定資本コストの推計レンジ（8～10%）を把握

目 標

2032年度までに

ROE **10.0%**以上 (株主資本コスト < ROE)

施 策

採算性の高い市場へのリソース配分の最適化

- 国内** 集合住宅市場のリニューアル受注拡大に向けた体制強化
Pabbitによる新たな収益モデルの確立に向けた取り組みの徹底
- 海外** 北米・欧州・東南アジア各市場に向けた成長投資の拡充

資本コスト低減への取り組みを継続実施

- 高利益体質の早期実現に向けた継続的な成長投資
- 国内外投資家に対する情報開示の充実化とIR活動の継続強化
- ESGへの取り組みの継続と更なる推進（主として気候変動関連、人的資本への対応）
- 成長的かつ安定的な配当の実現